



私立大・国公立個別(2次)試験対策を万全にしよう!

## 全員でうれし涙を流すために⑥

私立大試験が間もなく本格的に始まります。また、1月21日・22日の2日間行われた国公立大学出願面談では、国公立大学に出願予定者のセンター試験自己採点結果・今までの模擬試験・個別(2次)試験の科目、配点等をもとにリサーチした結果を参考にしながら、合格可能性の高い国公立大学を提示して、出願校を相談しました。

面談ではみなさんができるだけ現役で国公立大学に合格することを第一に考えて出願可能校を提示しました。ですから残念ながらセンター試験の結果から北海道・東北・九州など遠方の大学しか提示できなかった場合もありました。

「人間到る処青山あり(じんかんいたるところせいざんあり)」(注)といえます。自分の考えている条件が合えば敢えて遠方の国公立大学にチャレンジすることも現在のグローバル化している社会というキーワードで考えれば、必要なかもしれません。

受験し、大学で勉強するのはみなさん自身です。中には既に「もう一年頑張ろう」と覚悟を決めた人もいるかもしれませんが、これからのわずか40日間くらいが頑張れないなら来年にはつながりません。とにかく、どのような判定結果の大学を受験するとしても自分の選択した出願校合格に向けて最後まで全力を尽くしてほしいと思います。

さて、このあとやるべきことを確認しておきましょう。

(注) 幕末の僧、月性の漢詩の一節。故郷ばかりが墳墓の地ではない。人間の活躍できる所はどこにでもあるの意味。大望を達するために故郷を出て大いに活動すべきことをいう。

### ☆ 今後やるべきこと ☆

◎国公立大前・中・後期願書の出願→出願期日に注意し、確実にしる。  
出願しないとチャンスは広がらないので、前期だけでなく後期も出願し、最後まで頑張ること。

☆1月30日(月)午前中までには前期・中期・後期の願書を出願する。

※大学によって2月1日消印有効と、2月1日必着という大学があるので、願書で確認し、余裕を持って出願する。大学の指定したとおりの期日に出願しないと受験はできないので十分に注意し、前・中・後期とも確実にしる。  
遅くとも必ず1月30日(月)の午前中までに郵便局から確実に発送すること。

☆受験票が届いたら必ず受験番号を控えて担任へ連絡する。2月28日(火)卒業式予行または3月1日(水)卒業式の登校時に直接、担任に連絡してもよい。

### ◎私立大・国公立個別受験対策をしっかりと! →合格のカギ

センター試験が終わりほっとした気持ちを引かずと私立大学・国公立大学個別(2次)試験とも予期せぬ悪い結果が出るのが少なくありません。

過去の先輩たちの例からも、センター試験のリサーチ結果でたとえAやB判定が出ていても個別試験対策をしっかりとしていないと不合格になってしまいます。

前期個別試験まで30日あまり。この期間に私立大受験対策とともに小論文・面接も含め個別試験対策にしっかりと取り組み、更に自分の力を伸ばしてゆくことが合格のカギを握っています。最後の国公立大学の後期試験まで頑張ったとしても今年の受験はあと45日あまりで終了です。

2月からの自由登校中も、私立大学の試験がない日は学校に登校して勉強することをおすすめします。学校に来れば、生活のリズムを崩すこともなく、一緒に勉強する仲間がいます。これは励みになります。また、わからないところは先生方に聞き、疑問を解決することができます。是非登校して勉強してください。教室は17時まで、緑朋会館は19時まで利用できます。

また、個別試験・私大対策で小論文・英語・数学・理科の特別講座を申し込んだ人は、担当の先生からの指示を受け、今後の指導日等について確認してください。

### ☆今後の日程と連絡事項

1月31日(火)③学年集会④LHR ※2月からは自由登校・特別講座実施

☆2月25日~26日 国公立大学前期日程個別試験

☆2月28日(火)3年生を送る会・卒業式予行・同窓会入会式

通常通りに登校・アルバム等を配付するので手提げ袋等を用意する。

☆3月1日(水) 卒業式

※2月中の土・日・祝日も学習室開放(8:30~17:00)実施します。

- 1 ロッカー・机の中は空にする→1月31日(火)まで
- 2 卒業証明書希望者は400円を添えて担任へ申し込む。→1月31日(火)まで
- 3 私立大学受験者は合否の結果を必ず担任へ連絡する。  
※国公立大学も卒業後、必ず合格発表後、合否結果を速やかに連絡する。

受験は個人で行うものではなく、調査書発行など学校が関与しています。受験した大学の合否・進学先の報告は最低限の義務です。必ず報告をしてください。

